

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年2月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690500048
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム てね
所在地	鹿児島県いちき串木野市上名5050番地1 (電話) 0996 - 33 - 2210
自己評価作成日	平成29年1月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・H27年4月より敷地内に児童発達支援センターと保育所、就労支援施設等が開設し、交流を図っている。
- ・毎朝申し送り時に理念を復唱し、理念に沿ったケアが出来るように取り組んでいる。
- ・年4回のホーム便り(てね便り)発行し、地域の方や家族の方に配布を行っている。
- ・四季の行事を行ったり、年に1回、誕生日の月に本人と家族の要望を取り入れた、わがままdayを実施したり生活リハを取り入れながら生きがいを見出し、今を楽しく生活できるように支援している。
- ・地域や家族、同法人内施設で協力してペットボトルキャップを収集し、ボランティア活動を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている支援センター、

- ・当事業所は敷地内に、同系列の保育所や児童発達支援センター・就労支援施設等が併設し、利用者同士の交流がある。
- ・協力医療機関と24時間医療連携体制が整っている。
- ・自治会に加入し、運動会や夏祭り・清掃活動などの各地域行事に積極的に参加する一方、炊き出し訓練やクリスマス会・餅つき会・敬老会などの事業所の行事にも多くの地域住民の参加がある。日常的に地域交流を大切にしている。
- ・利用者一人ひとりが張り合いや喜びに繋げるように、個々人の誕生月に要望に応える「わがままデイ」を実施し、家族も交えて外出の楽しみを支援している。
- ・管理者は職員が働きやすい環境作りに配慮し、育児中の職員も隣接する保育施設を利用し、安心して勤務している。職員のチームワークが良く、ケア対応等の更なる向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	当事業所の理念を文章にし、各ユニットごとに掲げて、毎日朝礼時に復唱を行い、理念が実施できるよう心がけている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念で、事業所内のホールや事務所に掲示し、パンフレットにも掲載している。朝礼時に職員で復唱を行い、全体会議等でも振り返りをして、理念を実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域行事への参加や施設行事への参加を積極的に行っている。ペットボトルキャップ収集にもご協力をしていただいている。	自治会に加入し、回覧板や「てね便り」で地域と情報を共有している。地域行事の運動会や鬼火焚き・清掃活動等に積極的に参加する一方、炊き出し訓練などの事業所の行事にも多くの地域の人々の参加がある。野菜の差し入れがありホームからも手づくりのあくまきを届けたり、認知症について相談を受けたり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	「てね便り」を、年4回自治会回覧板に提供し、介護の豆知識や施設の取り組みなどを広報し、認知症の理解に努めている。	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、諸状況の報告や行事への参加を促し、話し合いの中での意見を取り入れ、サービス向上に活かせるように努めている。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に開催している。事業所や入居者の状況・防犯対策・外部評価等について報告し、意見が多く出され有意義な会になっている。参加者から外部評価についての質問や外灯設置場所の選定を話し合ったりしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>疑問に思うことがある場合には、電話にて確認を取ったり直接相談をしている。また、市役所からのアンケート等など迅速に対応を行っている。</p>	<p>市担当者とは、電話や窓口に出向き事業所の実情や取り組みを伝え資料や助言を貰っている。毎月、介護相談員を受け入れたり、行政主催の研修会や徘徊訓練にも積極的に参加し協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全体会議を利用して、身体拘束の勉強会を行ったり、法人内研修での勉強会に参加をしている。理解を深め、身体拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>法人主催の年1回の研修会や年3回の内部研修を、マニュアルを基に事例検討などで実施している。言葉による拘束についても気配りしている。日中の玄関の施錠はせずに、外出希望者には一緒に散歩をする等、身体拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全体会議などあらゆる機会を使って、虐待防止の意識向上に努めている。職員間で、お互いに注意ができるように心掛けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する学ぶ機会を設け、積極的に参加している。知識を深め、利用者の必要に応じた支援が出来るようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	納得して契約をしていただくため、十分な説明を行っている。その際には、疑問に思われておられる点を積極的に尋ね、理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者とのコミュニケーションの中で、個々の意見や要望などを聴き、職員間やご家族と相談し、意見や要望に反映させるよう、取り組んでいる。	利用者からは、食事の時やお茶の時・夜間の眠れない時・わがままday等の日々の関わりの中で意見や要望を聞き、市相談員からも参考にしている。家族からは面会時や家族会・電話・運営推進会議等で意見を聞いている。年4回便りを送付している。要望で個人用新聞購読や晩酌・外泊・利用者の今後の事について等、希望に沿えるよう対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝の朝礼・月に1回の全体会議・フロア会議を行い、意見交換の場を設けている。職員間での話の内容を共有し、業務を行っている。</p>	<p>管理者は毎月の全体会議やフロア会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。出された意見で車椅子対応として、スロープが3ヶ所整備されスムーズな避難ができるようになった。勤務の事や業務の流れについて提案があり運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の勤務状況の把握に努め、家族や体調面を考慮した勤務体制を行っている。また、職員の慰労を兼ねた、親睦会を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や法人内研修への参加の機会を設けて、職員のスキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加盟している。同地域のグループホームとの交流会を定期的に行い、情報交換・勉強会を設け、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	利用者入居時には、本人とご家族から情報を聞き取り、利用者の思いや考えを早めに把握し、少しでも早く安心して過ごしていただけるように努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	利用前・利用後も十分に説明を行い、不明な点があればすぐに対応できる場を、設けている。面会や電話での対応時に、利用者の様子を伝える様に心掛けている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご本人・ご家族・職員間で十分に話し合い、今どのような支援がご本人に必要なか検討を行い、対応している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	ご本人の性格を把握し、生活の中で出来る事はしていただき、出来ない事はサポートしながら、ご本人との関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の思いに寄り添いつつ、ご家族の思いを傾聴し、共に支えていく関係を、築いていくよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の趣味・特技を、日々のレクリエーションに取り入れたり、地域の行事に参加している。誕生日月には、わがままDayを設けたりと、支援に取り組んでいる。	わがままdayを設けて、自宅に帰って親戚の集まりに参加したり、孫と一緒にご飯を食べたり、馴染みの場所に出かけている。地域の行事にも積極的に参加している。馴染みの友人知人の訪問が多く、お茶を出すなどして継続的關係が途切れないよう働きかけている。馴染の理美容室利用や墓参・外食など、家族の協力を得て支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のレクリエーションなどを通じ、利用者同士がコミュニケーションが図れるようにしている。また、ホール内でも話が出来るように、フォローに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された場合には、職員がお見舞いに伺ったり、亡くなられた際には、通夜・葬儀への参列を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各利用者に担当職員を決め、利用者自身の希望や意向を把握し、利用者主体のケアに努めている。	利用者に職員の担当を決め、日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者のフェイスシートを読んだり、会話をしたりする中で、これまでの生活環境・家族の情報・サービスの経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者それぞれの生活リズムを把握し、出来る事はしていただき、出来ない事は支援し、見守っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族の意向を聞き課題を見つけ、主治医の意見をもとにケアプラン作成し、担当者会議にて話し合いを行い、現状に合ったサービス支援につなげている。	本人や家族の希望を確認し、主治医の意見を参考にして、担当者会議で話し合い個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に介護記録を記入しており、変化があった利用者については、その都度話し合いを行い、記録に残し情報共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人・ご家族にも協力して頂き、医療機関や専門職のアドバイスを受けながら連携を図り、柔軟な支援に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域行事に参加し、施設行事の際には、ボランティアの方々に参加して頂いている。また、地域との交流を楽しみ、喜んで暮らせるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人・ご家族の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医との連携を取りながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族の希望を聞き、かかりつけ医の受診を支援している。母体医療機関と24時間医療連携体制が整っている。歯科は往診があるが他科受診は家族が同行している。受診結果は家族に報告して、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の関わりの中で、状態の変化や異常など気づいた時には、バイタルチェックを行い病院へ報告し、適切な医療や看護が受けられるよう支援している。昼夜問わず、連絡がとれる体制を築いている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際には、生活状態をサマリーにて提出している。入院時には面会に行き、病院との情報交換や状態を把握し、利用者の情報共有に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に、重度化した場合や利用者の状態に応じて、ご家族と話し合いを行い、施設で出来る範囲の対応を説明し、ご本人・ご家族の希望に添える様、支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族と話し合い家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取り希望の場合は医師や職員が連携を取り、随時意思を確認しながら取り組んでいる。職員は関連の勉強会や講習会に参加している。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアルがあり、急変・事故の発生時に対応できるように努めている。また、定期的に勉強会を行い、実践力を身につけるよう、学んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を実施している。1回目は、消防の方の立会で2回目は、自主避難訓練を行なっている。また、炊き出し訓練を地域の方やご家族の方々に協力を得ている。災害時に備え、危機意識を常に持ち、緊急時には地域の方々に協力いただける体制を築いている。</p>	<p>避難訓練は年2回実施している。1回は消防署立ち合いの下に昼夜想定して行っている。1回は自主訓練である。炊き出し訓練には運営推進会議参加者や地域住民・家族も参加している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置し、緊急連絡網に自治会の代表者の登録を得、緊急時には地区の防災無線で放送してもらうなど、地域との協力体制もできている。非常時のご飯や水・缶詰・カップラーメンなどの備蓄もある。カセットコンロも用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者に応じた声掛けや、言葉使いにより人格を傷つけないように、対応している。プライバシーに配慮したケアが出来るように、心掛けている。	定期的実施される法人研修に参加し、マニュアルを基に勉強会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。入室時のノック・トイレ誘導・入浴などでは羞恥心に対する配慮を行い、名前は「さん」付けしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望や思いには、ご本人が自分の気持ちを話せるように対話を持ち、自己決定出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりに合わせた過ごし方をしていただき、希望される事に関しては、望まれる事に添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の個性を活かしつつ、季節に合った服装を選んでもらったり、提案を行い支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好物や苦手な物を把握し、希望に添えるように対応している。また、食事が楽しくなるよう配慮している。片付け等は、個々の出来る範囲で職員と一緒にやっている。	菜園の野菜や旬の食材を使い、嗜好やご飯の固さなどを個々に把握し食事形態を工夫している。つわやタケノコの皮むき等や後片づけを職員と一緒にいたりしている。季節の行事食や弁当持参での花見・おせち料理など、楽しみになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量・水分摂取量を管理し、一人ひとりの状態に合わせた、食事形態を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、自立された方へは声掛けにて対応し、介助が必要な方へは、職員が口腔ケアの介助を行い、清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の個々の排泄状態を把握し、声掛けや介助を行っている。一人ひとりの力を維持し、自立に向けた支援をしている。	排泄パターンを把握して、必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。個々人の状況や意向を大切に排泄用品を活用している。リハビリパンツから布パンツに改善された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常の中で、水分摂取の声掛け・個々の能力・体力に合わせた動作にて、体を動かす声掛けを行っている。また、医師との連携にて必要性があれば薬での対応を行い、便秘予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりに入浴の声掛けを行い、ご本人の意志・要望になるべく添えるように、対応している。個々で出来る事はして頂き、体の状態も観察しながら支援している。	入浴は基本的に週3回、午前中に行っているが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。必要時に2人介助もしている。シャワー浴や足浴も行っている。入浴を拒む利用者には声かけなどを職員間で連携して行い、入浴を楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の生活パターンで、ソファで休息されたり、居室で休まれたりと、それぞれの休息が取れるよう、支援している。夜も、自分が寝たい時に寝ていただくように、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフが、薬の説明書の内容を理解し、一人ひとりの薬を数名で確認している。服薬が終わるまで見届けて、誤薬の無い様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のレクリエーション・生活リハビリ等で、それぞれの役割や楽しみができるよう支援している。その中で、得意な事も知り、支援に繋げている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節を感じる事も楽しみの一つなので、体調を観て散歩・ドライブ等の支援をしている。地域の行事（夏祭り・運動会・文化祭等）にも出来るだけ参加出来るよう、支援している。	日常的には敷地内を散歩したり近隣のドライブに出かけている。地域行事にも参加している。年間計画で、コスモスや桜の花見・そうめん流し・鬼火焚き・ピクニック・初詣などに出かけている。誕生月にはわがままdayを活用して職員や家族と共にいきたい所に外出している。家族の協力で外出や外食・理美容院利用・墓参などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時、職員が付き添い欲しい物を買われたり、移動販売を利用されて買物を楽しむことが出来るように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族からの電話があった場合は、ご本人と直接話しが出来るように対応している。手紙の場合は、ご本人に手渡し、本人の希望があれば読んで差し上げるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のホールでは、快適に過ごしていただけるよう、温度・音・明るさに気を配り、季節感を取り入れ、花の飾り付け等を工夫している。	共用空間は広々として、採光はカーテンを利用して調節している。換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁には外出時や行事の写真が貼布してある。季節感を大事にした花や飾りつけがある。ソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内にソファとテーブルがあり、それぞれ思い思いにその場に行かれ、近くの方と話をされたり、一人でくつろがれる。それぞれの居場所で、安心して過ごせるよう支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今までの生活様式を変えることなく、ご本人・ご家族の希望を伺い、居心地よく過ごしていただけるよう支援している。	居室は電動ベッドや洋服かけ・整理棚が備え付けである。ベッドの昇降に安全な介助バーも設置されている。テレビや仏壇・冷蔵庫・写真・暦・位牌など使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮し、窓は掃出し窓で外の景色が良く見え居心地よい暮らしができるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部で、トイレや居室が分かるように貼り紙など行ない場所が把握できるようにしている。また、ご本人が自立して生活が出来るよう支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない